

HEART POWER CHALLENGE

唐津市立成和小学校便り

令和8年度 第 6 号

令和8年 10月 5日

文責 校長 坂口 博之

学校教育目標

「ハート」「パワー」「チャレンジ」



学校 HP



あたたかく、力強く、自分らしく、夢や目標にチャレンジする成和っ子の育成

「自分を好きになる方法」と「周りの人にできるかかわり方」

学校教育目標に係るアンケート（上期：4月～9月）を取りました。結果は以下のとおりです。 9月に実施 回答数260人

将来の夢や目標をもっていますか

もっていない 21%

もっている 79%

ねばりよく取り組むことができますか

あまりできていない 7%

できていない 3%

まあまあできている 42%

できている 48%

自分のことが好きですか

好きではない 10%

あまり好きではない 14%

好き 32%

まあまあ好き 43%

友だちのよいところを見つけたり、困っている友だちを助けたりしていますか

あまりしていない 7%

していない 2%

している 52%

まあまあしている 39%

★「自分を好きになる方法」

①できたことを見つけてみる

・毎日、「今日できたこと」を1つ見つけてみよう。

②失敗しても気にしすぎない

・誰でも失敗をします。「つぎはどうしたらいいかな」と考えれば、失敗は成長のチャンスになります。

③人と比べない

・友だちには友だちのよさがあります。そして、「自分にも自分のよさがあります。」

④「ありがとう」を受け取る

・友だちや家族から「ありがとう」と言われたら、「そんなことないよ」ではなく、「ありがとう」と言って受け取ろう。

⑤自分にやさしい言葉をかける

・自分にも、「よくがんばったね」「だいじょうぶ」「またチャレンジしよう」と声をかけよう。

※自分を好きになるということは、「何でもできる人になること」ではありません。「できるところも、苦手なところもある自分を大切にすること」です。

★「周りの人にできるかかわり方」

①存在そのものを認める

・結果や能力だけでなく、その人の存在を認める言葉を伝える。

②小さな成長や努力を認める

・成功だけでなく、努力した過程を評価する。

③話をしっかり聴く

・否定や批判を急がず、まず気持ちを受け止める。

④失敗しても受け入れる

・失敗を責めず、成長の機会としてとらえる。

⑤比較しない

・その人自身の変化や成長に目を向ける。

⑥感謝を伝える

・自分が誰かの役に立っていると感じることは、自分を好きになる力につながる。

※子どもも大人も、「できるから価値がある」のではなく、「ありのまま大切な存在だ」と感じられることが、自分を好きになる土台になります。

みんなが安心して過ごせる学校にするために（合理的配慮）

1. これは「ズルい」ことでしょうか？

皆さんは、顔や性格、これまで育った環境、一緒に過ごしている家族など、一人一人が違った存在です。上手にできることや上手にできずに困っていることも一人一人違います。

ここで、皆さんに考えてもらいたいことがあります。これは「ズルい」ことでしょうか？例えば、身長の違いが壁の向こうの野球を見ています。でも何もない状態では壁のために二人が野球を見ることができません。同じ高さの踏み台を三人に平等に配っても、背の低い左の子はまだ見えません。では、同じように野球を観るために、どうしたらいいのでしょうか？三人全員が観ることができるように、一人一人に合った踏み台を用意するといいいですね。つまり、一人一人に合った支援（サポート）をすることが大切です。背が低くて見えない人だけが踏み台を使うことは、「ズルい」ことではありませんよね。これと同じように学校でも、上手にできることや上手にできないことは一人一人違います。一人一人の「困っていること」に合った支援（サポート）や工夫をすることがとても大切です。

壁の向こうの
野球の試合を
観たいなあ



引用：ティーンズ <https://www.teensmoon.com>

2. こんな場面を見たことがないですか？

こんな場面を見たことがあると思います。

例えば、担任の先生以外の先生や支援員の先生が横につくこと、違う部屋で学習すること、給食に食べられないものがある友だちに別のメニューがあること、車いすの友だちが通りやすいようにスロープをつけることなど…。

これらは「特別なこと」ではなく、「みんなが同じように学べるようにするために大切なこと」なのです。

また、これらは、「みんなが楽しく、安心して過ごせるようにするために大切なこと」なのです。

3. 皆さんにできること

先生だけでなく、誰にでもできることがあります。

それは、友だちの違いを認めること、「どうしたらいっしょにできるかな？」と考えること、できずに困っている友だちがいたら思いやり、優しく助けたり、教えたり、励ましたりすることです。皆さんのこうした気持ちが、成和小学校をもっともっとすてきな場所にしてくれます。

4. 終わりに

終わりに、学校便りを読んでくださっている皆さんへのメッセージです。

- ・誰もが自分らしく過ごせるための考えを大切にしましょう。
- ・違いを認め合い、みんなで助け合える成和小学校にしていきましょう。



一人一人違う

Web サイト:

<https://www.education.saga.jp/hp/seiwa-e/>

連絡先:

0955-75-0174

メール アドレス:

seiwa-e@education.saga.jp